

第93の山登頂記

前略。

数日前に登頂記をお送りしたばかりですが、その日の登山メンバーと別の、同じ地元山の会有志からお誘いがあり、1月28日(月)、防府市にある大平山(標高631M)に登ってきました。

登山日の前日~その前日あたりは、この冬一番の寒気が日本列島を襲い、こちらの地域でも雪の日々でした。前日は、朝方から昼過ぎまで雪が降っていましたが、昼過ぎにはあがり、夕方の天気予報だと翌日(登山当日)は寒気も東に遠のき、冬型も緩むということでした。当日朝になってみると、予報の通り、問題なし。予定のメンバー(Kさん夫妻、Fさんと私)4人で、登山口の防府・阿弥陀寺へ。Kさんの奥さんは、地元企業・N社の独身寮の朝食料理賄いをやっており、この日も4時起きの前9時帰宅で、一仕事終って、そのまま慌てて集合場所(厚狭公民館、9時半)に参集。全員揃ったところで、私の車で、阿弥陀寺(公民館から約5.5KM)へ移動し、11時少し前に寺の駐車場に到着。

そこで、各人思い々々の装備準備&事前体操後、登山道へ通じる阿弥陀寺へ。

阿弥陀寺はあじさい寺として有名ですが、仁王門や仁王門の金剛力士像など貴重な文化財も沢山ある寺です。当日は、丁度この寺の縁日でもあり、仁王門の藁ぶき屋根の軒下には通常は見られない幔幕が、また、門柱の脇には一対の大きい提灯が飾られていました。

その仁王門を過ぎ、境内を經由して大平山の北側斜面(裏側)を登るルートがあります。登山開始時点で標高は約80Mでした。

大きめの石ころとむき出しの木の根のある石段を登って行きます。石段を終り、杉林を過ぎ、石ゴロゴロの坂を登って行き、20分位登った時、道の両側にある竹林から道を塞ぐように枯れた竹が横一文字に「通せんぼ」をしていました。「こちらは登山道ではない!」の合図かと思い、脇を見ると赤いテープが見え、そちらが登山道かと思い、急坂を辿ってみると、行き止まり。元の横一文字に戻り、竹を潜って進むと登山道になっていました。すこし道草を食った訳です。その後登る時に、何本かの赤いテープをよく々々見て行くと、これは登山道の表示ではなく、どうも境界表示杭を打つ目印のテープのように思われました(紛らわしい)。

更に、30分程雑木林を縫う様に登って行くと(標高で言うと400M付近で)、登山道に沿って流れる溪流の日陰部分には残雪が。登るにつれて、雪は多くなり、遂に、歩

く道付近まで雪が見られるようになりました。振り返ると、視界が少し開け、V字の木々の間に防府の町並みと白い雲の浮かぶ青い空が垣間見えました（※019）。道の脇には、時々大きい石（岩）もあります。○○バグのように積み重なった石（岩）もあり、どうやってこの岩が出来たか不思議です。道の脇の溪流も、所々で小さい滝になっていて、流れの音も激しく聞こえてきます。昨日、今日の冷え込みのせいでしょう、水の落ち込んだ付近には水が凍って、つららになっていました。

登り出して一時間強、堰堤にぶつかる。堰堤の中央のくぼんだ部分から水が落ちていましたが、それを挟むようにコンクリート壁に張り付く2本の白い氷の縦筋も見られました。堰堤脇を巻くように道が付いており、その道に沿って堰堤の上へ上がります。そこから、緩い登りを登って行きます。このあたりに来ると、雪の量も結構増えました。溪流を小さく渡り、道を進むと、車道にぶつかり、アスファルト道を歩き、少し大きい堤（ダム池）に着きました。その脇を抜けて再び登山道を進みます。堤（池）は、部分的に氷が張っており、何となく「美」を感じました（※039）。

堤（池）を土手沿いに横切ると、そこは大平山の全くの陰で、降り積もった雪が随分残っていました。一面の積雪は2～3CM、記念撮影後、皆で処女雪を踏みしめて進みます。頂上とロープウェイ乗り場（南麓からのロープウェイ終点）方面との分かれ道に出会い、前回と違って、ロープウェイ乗り場方面へと進んで行きました。

ロープウェイ乗り場には届かなかったけれど、山頂直下の広場に着き、もう13時になるし、昼食とする事にしました。この広場は、今日は誰もいませんでしたが、どうもミニ運動場のようで、真ん中にペンキで四角いスペースが仕切っており、周りにはバスケットボールのシュート台や壁テニス練習用のコンクリート塀などが設備されていました。

横の方にベンチがあり、その付近でランチタイムオープンです。

今回は久しぶりにコンロを持参し、併せて持参した水（&湯）をコッヘルに注ぎ、沸かして、これも持参のインスタントみそ汁（我が家では高級味噌汁と言う）とワカメスープを作って、お弁当の添え物にしました。美味しいし、暖かいから喜ばれました。Kさんの奥さん手製の白菜の漬物も、味がおとなしくて美味しい。ビール用着に、おにぎりの「あて」にと、何度もおかわりしました。

30分ちょっとでランチを終り、放送用の大きいアンテナの乱立する頂上を目指しました。頂上付近に着くと、前（南斜面側）は、防府市の中心街を経て日差しに輝く瀬戸内海が一望です（※053）。頂上付近のアンテナ銀座のなか、NHKのアンテナ付近で

は、ダンプカーも繰り出されていて、人がアンテナに登って、何か工事をしていました。脇を抜けて、頂上三角点で記念撮影。

ちょっとして（14時前）、直接、前述の堤（池）の方に向かって行きました。池を過ぎると、元の登って来た道です。前段で書いた赤いテープの下には、確かに木の杭が打ってありました。結構沢山ありました。

登山口の阿弥陀寺に着いたのは、15時半ごろ。皆にお願いして、陶芸材料店で買い物寄り道をして、厚狭公民館へは17時頃到着しました。

天候もこの日から好転、風はやや冷たかったけれど、北側斜面を辿り、ミニ雪山気分も味わった爽やかな登山でした。歩行数は16100歩とやや多目で、少ししこりが残りました。

山口／古賀。



